

## 常陸太田市下水道事業経営戦略ロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について（令和2年7月22日）」及び「社会資本整備総合交付金等の交付にあたっての要件等の運用について（令和6年4月1日）」に基づき、公共下水道事業における経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

### 1 ロードマップ

投資計画については、投資事業費の実績及び保有資産の耐用年数から事業費の平準化を踏まえて実施し、ストックマネジメント計画等諸計画を策定し投資計画に反映することとする。

現在の経営戦略は公営企業法適用以前に作成されているため、令和7年度に公営企業法の適用を反映した経営戦略に改定を行います。

また、経費回収率の向上に向け使用料の適正化を目的とし、5年ごとに経営戦略及び下水道使用料の改定の必要性についての検討を行います。

表1 経費回収率の向上に向けたロードマップ

年度 項目	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
経営戦略計画期間											
経営戦略見直し	◎					◎					◎
使用料の検討											
使用料改定				◎					◎		

#### ※経緯

- ・平成31年度（地方公営企業法適用）に、経営戦略見直し時期の検証を行い、法適用後5年以内の経営戦略見直し、その後の使用料改定の検討を計画。
- ・令和4年度に四季の丘はたそめ（団地）の公共下水道接続後に発生した汚水溢水事故に伴い、対策工事を優先するため経営戦略見直し時期及び使用料改定の検討時期を再検証し「社会資本整備総合交付金等の交付にあたっての要件等の運用について」に基づき見直し期限である令和7年度の経営戦略見直し、その後の使用料改定とする。

### 2 業務目標

(1) 計画期間 令和8年度～令和17年度

(2) 取り組み内容

適正な維持管理・修繕による維持管理費用の抑制を図る。

啓発推進により水洗化率を向上し下水道使用料収入を確保する。

経営戦略の検証・定期的な適正使用料単価の検討による事業運営の適正化を図る。

(3) 業務目標

項目	目標（令和7年度）	概要
水洗化率（%）	94.33%以上	使用料収入の確保のため類似団体平均値を上回っている現状値以上を目指す。
経費回収率（%）	88.97%以上	物価上昇による維持管理費用の増加が見込まれるが、類似団体平均値を上回っている現状値以上を目指す。